

2022年度 自己評価結果公表シート

2023年3月1日
遊学舎武雄こども園

1. 本園の教育及び保育の目標

1. 基本的生活習慣の確立（すこやかさ）
2. 心身の調和（たくましさ）
3. 社会性の要請（ゆたかさ）

2. 本園の教育方針

- ・遊びから学び、さまざまな体験を通し、生きる力を育てます。
- ・地域や保護者様との信頼関係を築き、喜びを感じながら子育てを共に行います。
- ・研修や自己研鑽に励み常に自らの専門性を高め、法人職員としての責務を果たします。

3. 本年度、重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 教育課程・指導…個人の発達や家庭での現状に応じた保育教育を行う。
チーム保育による保育教諭の連携。
- 保健管理…園児の健康診断の実施（年2回）、日々の健康観察。
- 資質向上の取組…園内外における研修への参加、報告、実践。
- 子育て支援…一時預かり保育事業の充実による0号支援、子育て講演会の実施、在園児の保護者支援。
- 幼保小連携…円滑な連携・接続。
- 教育環境…施設設備・遊具や教具の安全点検・環境整備。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	取り組み状況
教育課程・指導	B	一人ひとりの成長過程を職員間で共有し、様々な取り組みを行うことで個々の子どもの良さを引き出す保育ができた。援助が必要な園児にも個別で対応することで、落ち着いて園生活を送ることが可能になったため次年度も継続して対応していきたい。
公開保育	A	職員研修として認定こども園の職員に来園して頂き年に1度の公開保育を行い、職員の意識向上に努めた。主体的保育について引き続き研鑽に努める。
保健管理	B	園医・歯科健康診断は実施済み。尿検査2回実施。毎日、保護者様との連携を欠かさず小さな変

		化に気づけるよう対応できた。コロナ対策として毎日の消毒や検温等も欠かさず行った。
資質向上の取組	A	教育・保育と食育、サイエンスが連携し多角的な保育が行われた。職員が主体的に園内研修に参加し、より深い学びに繋がった。
子育て支援	A	コロナ禍でもあり、制限をしながらの受け入れとなったが0号支援として実施できている。子育て講演会も開催できた。普段の様子や食育を通し定期的な動画配信も行った。
幼保小連携	B	就学前の年長児（支援が必要な園児）では密な連絡調整ができた。小学校への訪問や参加がコロナ禍のため制限されていた。
教育環境	A	学校薬剤師による定期検査ができた。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	計画や目標を明文化し、保育者も子どもも主体的に保育が展開できるよう努めた。園内研修のより一層の充実等、来年度に向けた課題を踏まえ、日々の教育・保育につなげていきたい。

6. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
受容共感的教育保育	園児一人一人の心もちや思い、呟きをしっかり受け止めて、認めてもらえているという安心感を基に保育を行う。また園児の心情育成に繋がる言葉遣いや態度を心がける。
主体的に取り組む職員の育成	職員が主体的に園の課題を発見し、解決策を計画立てて実施できるようにする。ミドルリーダー始め、人材育成に重点を置いた組織づくりをする。
教育保育の具体的取組	教育・保育とサイエンス、食育、アートがもたらす効果について様々な取り組みを行い、子どもの主体的な育ちと問題解決能力育成に繋げたい。

◎「4, 5」の評価結果の表示方法

A	十分に達成されている
B	達成されている
C	とりくまれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

